

サクラマス稚魚放流式 漁獲量の増大を目指す



関係者による放流

6月19日、東通村水産振興推進協議会（畑中 稔朗 会長）主催により、老部川内水面漁協人工河川において、サクラマス稚魚放流式が行われました。

当日は、平均尾叉長6.5cm、体重4.0gの稚魚5千尾を、村議会、村内漁業協同組合、青森県下北農林水産事務所むつ水産事務所、東京電力HD（株）及び東北電力（株）などの、約30名の関係者の手により放流されました。

また、これに先立ち、東通村では、6月18日に小老部川、老部川へ計2万5千尾を放流し、今期は合計で3万尾の放流を実施しました。

この放流事業は、サクラマス漁獲量の増大を目的に実施しているもので、今年で29年目となります。

村では、サクラマスを「つくり育てる漁業」の中心となる魚種として、今後も資源の増大に努めてまいります。

村の特産品使用！豪華すぎる料理教室開催♪



調理中の野呂氏(左)



盛り付けに挑戦する参加の皆さん



完成した料理

6月22日、東通村健康福祉センターにて「東通村産品を使った料理教室」（講師：野呂 浩子 氏、共催：東北電力（株））が開催され、東通村の特産品である東通牛、地まきホタテ、ひらめ、うに、ブルーベリー等を使用した5種類の料理に挑戦しました。

いつもと少し違ったレシピに、参加者からは「調理方法を工夫することで東通村の食材の新たな魅力を発見することができた」との声が聞かれました。

越善 岩男 氏（上田代）に瑞宝単光章

越善 岩男 氏（上田代）が、令和8年春の叙勲で、瑞宝単光章を受章され6月22日、東通村役場を訪れ、畑中村長に受章の報告をしました。

越善氏は、東通村消防団第20分団分団長を務めるなど、永年にわたり村消防団の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたことが認められ、今回の受章となりました。

越善氏のご功績に対し深く敬意を表しますとともに、ご尽力に改めて感謝し、ご栄誉を心からお慶び申し上げます。



瑞宝単光章を受章された越善氏(右)と畑中村長